

茂呂つよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

経営厳しい東葉高速鉄道 県民の足を守る手立てを

2月県議会・予算委員会

八千代市選出の茂呂剛議員は、2月県議会の予算委員会に登壇し、令和4年度予算案に計上された議案について、経営が厳しい東葉高速鉄道への支援策をはじめ、八千代広域公園・萱田地区の計画など身近な課題を取り上げて質問した。その概要をお伝えする。



2月県議会・予算委員会で質問する茂呂剛議員

東葉高速鉄道の経営状況
茂呂議員 東葉高速鉄道は、近年、沿線の宅地開発等により利用者数は堅調に伸びたが、新型コロナウイルスによって利用者数が減少、大幅な減収に見舞われ、会社にとっても厳しい経営状況が続いていると聞く。

そこで何うが、現在の会社の経営状況はどうか。
交通計画課長 東葉高速鉄道の今年度1月までの運輸収入は、感染拡大前の平成30年度と比べ、通勤・通学定期は26.6%の減、定期外では13.9%の減となるなど、収入の確保が課題となっています。

また、令和2年度決算に
おいて、11期連続で黒字を計上できていたものの、依然として約2,400億円の長期債務を抱え、毎年70億円程度の元利償還が経営を圧迫するなど、厳しい経営状況が続いています。

収支見通し
茂呂議員 会社の今後の収支見通しについてはどうか。
交通計画課長 昨年11月の自立支援委員会では、運輸収入の回復見込みについて推計し、通勤定期が85%、通学定期・定期外が90%までしか回復しない最も厳しいケースでは、令和10年度にも資金ショートする可能性が示されたところでした。

資金ショートへの対応
茂呂議員 東葉高速鉄道は、地域の通勤通学の足として、なくてはならない公共交通機関である。県は、資金ショートへの回避に向け、どのように対応していくのか。
交通計画課長 国や沿線市などの関係者で構成する自立支援委員会において、会社の経営状況や取組状況を引き続き注視しながら検証していくとともに、資金ショートの可能性があると見込まれる場合には、速やかに支援策の実施に移行できるよう協議してまいります。

また、国に対しては、鉄道・運輸機構に対する長期債務の縮減や利払いの軽減などについて、粘り強く働きかけてまいります。

八千代広域公園・萱田地区 新年度にも造成着手

新年度の事業内容
茂呂議員 令和4年度の当初予算では、都市公園整備事業として、約18億円が計上されている。

現在、県内では3か所で、新しい県立都市公園の整備が進められており、早期の完成が期待される。

令和4年度当初予算における都市公園整備事業の内容はどうか。
公園緑地課長 令和4年度は、萱田側について、市の

度都市公園整備事業では、八千代広域公園など整備中の3公園の事業推進を図るため用地買収等を行います。

また、青葉の森公園など12公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、陸上競技場のトラック舗装の改修をはじめとして、老朽化した施設の改修を進めてまいります。

八千代広域公園の整備
茂呂議員 私の地元、八千

代市でも八千代広域公園の整備が進められ、新川を挟んで村上側と萱田側に分かれている。村上側は既に開園している。村下側は既に開園している。村上側は既に開園している。村下側は既に開園している。

八千代広域公園の整備
公園緑地課長 令和4年度は、萱田側について、市の

度都市公園整備事業では、八千代広域公園など整備中の3公園の事業推進を図るため用地買収等を行います。

また、青葉の森公園など12公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、陸上競技場のトラック舗装の改修をはじめとして、老朽化した施設の改修を進めてまいります。

八千代広域公園の整備
茂呂議員 私の地元、八千

代市でも八千代広域公園の整備が進められ、新川を挟んで村上側と萱田側に分かれている。村上側は既に開園している。村下側は既に開園している。

また、青葉の森公園など12公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、陸上競技場のトラック舗装の改修をはじめとして、老朽化した施設の改修を進めてまいります。

八千代広域公園の整備
公園緑地課長 令和4年度は、萱田側について、市の

酪農への支援望む

生産性向上への取組
茂呂議員 八千代市は、昭和初期に乳業会社系列の牧場が東京から移転してきたことから酪農が盛んな地域

協力を得ながら、残る用地の取得に取り組みとともに、一部造成工事を実施します。

その後、園路や広場などの公園施設の整備に取り組み、順次供用できるように努めてまいります。

八千代広域公園の整備
茂呂議員 八千代市は、昭和初期に乳業会社系列の牧場が東京から移転してきたことから酪農が盛んな地域

協力を得ながら、残る用地の取得に取り組みとともに、一部造成工事を実施します。

都市近郊の酪農における生産性向上について、県はどう取り組んでいくのか。
農林水産部長 県では、乳量が少ない乳牛を、新たな乳牛に更新する取組を支援するとともに、健康な乳牛を育てるために重要な哺乳・育成期の管理技術の改善指導を行っております。

加えて、夏季の暑熱による乳量低下を防ぐため、牛舎屋根の遮熱材を塗布する取組にも支援しています。

労働負担軽減への取組
茂呂議員 本県は全国有数の酪農県だが、酪農家の減

少傾向が続いていると聞く。その要因として、酪農は、毎日の搾乳作業や昼夜間わかない繁殖管理など、労働負担が大きいという。

そこで何うが、労働負担の軽減について、県としてどう取り組んでいくのか。
畜産課長 労働負担を軽減するためには、搾乳作業における機器を自動搬送する装置や、発情や分娩兆候を確認する監視装置などの導入が有効です。

県では、これらスマート機器の導入を支援することに
器の導入を支援することに
器の導入を支援することに

より、労働負担の軽減に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス
茂呂議員 新型コロナウイルス感染症の影響で、牛乳・乳製品の消費が落ち込んでいます。春休みも牛乳が余ることが予想され、引

き続き、牛乳・乳製品の消費拡大に取り組まれるよう要望する。

飼料の安定供給の取組
茂呂議員 飼料の供給が不安定となっており、地元の酪農家から安定供給を求める声が寄せられている。

県は、飼料の安定供給に、
畜産課長 県では、荒廃農地等を活用した自給飼料の生産拡大を図るための機械等の導入や、稲作から飼料作物への転換に要する経費を支援してまいります。

また、未利用資源等の活用を推進するため、食品製造業者に対し飼料として利用可能な食品製造副産物を調査し、今後利用を希望する農家に対して情報を発信してまいります。

酪農を続けることが難しくなっており、酪農家が事業を継続できるように支援をお願いします。

酪農を続けることが難しくなっており、酪農家が事業を継続できるように支援をお願いします。

酪農を続けることが難しくなっており、酪農家が事業を継続できるように支援をお願いします。

八千代特別支援学校 過密解消は急務

旧花見川二中の活用で対処



再質問と要望を述べる茂呂議員

旧花見川二中選定の理由
茂呂議員 八千代市にある県立八千代特別支援学校は昭和54年に児童生徒71人で開校した。その後、周辺地域の宅地開発が進むことなどから、特別支援学校に通う子供たちも増加し、今年度は184人が在籍している。児童生徒数増加により近年、八千代校は教室不足状態が続いており、過密状況の解消対策は喫緊の課題である。

過密状況への対応として
第2次県立特別支援学校整備改革において、八千代と千葉の特別支援学校を対象とした新設を計画している。新年度当初予算案に「旧千葉市立花見川中学校を活用した新設校配置に伴う基本設計等の経費が計上されたが、なぜ、新設校に旧千葉市立花見川第二中学校を選定したのか。特別支援教育課長 新設校で学ぶ児童生徒にとって

望ましい教育環境を確保する
という観点から、通学の利便性や想定した受入規模に対応できるかなどを総合的に判断して、旧花見川第二中学校を選定いたしました。

通学区域の設定方針
茂呂議員 新設校には、八千代市の子供たちも通学すると思うが、通学区域設定にあたり、今後、どんな方針で、いつ頃決定するのか。特別支援教育課長 新設校の通学区域については、千葉市と八千代市の部及び習志野市を想定していますが、詳細については、今後、関係市と協議を進め、概ね開校の2年前までを目途に、なるべく早期に決定したいと考えております。

八千代校の過密への対応
特別支援教育課長 新

待機児童解消へ105施設を整備

新年度の施設整備
茂呂議員 保育ニーズの増加等に対応するため、待機児童の解消を図ることは喫緊の課題である。

保育所等の待機児童解消のため、令和4年度にどのくらいの施設整備を見込んでいるのか。
健康福祉部長 保育所及び小規模保育事業所等の整備につきましては、国の交付金に県独自の上乗せを行い、令和4年度は105施設、定員数で、約5,000人分を見込んでおり、当初予算案には20億4,520万円を計上しております。

相談件数と就職実績
茂呂議員 受け皿の整備に伴い、担い手となる保育士に確保定着も重要な点は、様々な取組を行っているが、それでも保育士不足が生じている。

県が設置している「ちば保育士保育所支援センター」では、就職相談や人材バンクを運用しており、紹介料は無料なので、積極的な活用が効果的だと思つて。
ちば保育士保育所支援センターにおける就職相談件数、同センターを通じた就職実績はどうか。子育て支援課長 令和3年度の就職相談件数は、

令和4年1月末現在で前年度の同期比44.0件増の2,085件、就職件数は前年度の同期と同じ54件です。なお、就職件数は、例年、年度末の2月、3月で大きく増加しております。

保育補助者の確保
茂呂議員 保育士不足の中、新型コロナウイルスにより、現場の保育士は非常に疲弊している。保育士を補助し、負

負担軽減にも繋がる保育補助者の確保も必要だが、県はどう取り組んでいくのか。
子育て支援課長 県では、保育士の勤務環境改善に取り組む事業者に対し、保育補助者の雇用経費への補助を行っております。また、保育補助者として、子育て支援員の認定を受けた方が期待されているため、県では、子育て支援員の認定研修の開催経費として、令和4年度当初予算案において、定員を前年度から600人増やし、1,330

人分、4,584万円を計上しております。
「ちば保育士保育所支援センター」が「ジョブカフェちば」等の就職支援施設と連携するなど、様々な角度から人材確保につながるような取り組みを研究し、二層の人材確保に努めるよう要望する。更に、疲弊する保育現場に対し、人的、物的に援助する具体策を要望する。

研修の実施状況
茂呂議員 保育の人材確保とともに、保育士の資質向

増える外国人児童生徒

日本語指導教員の支援状況
茂呂議員 日本語指導が必要な外国人の児童生徒数は年々増加しており、平成30年度の調査によると、千葉県内でも、1,778名の児童生徒に日本語指導が必要とされ、更に増加する予想されています。県では、その支援策の一つとして、国から加配された日本語指導担当教員を活用し、日本語学習や学校生活の支援等を行っているというが、その状況はどうか。

教職員課長 国の加配を活用して配置している日本語指導担当教員は、令和元年度は38人、令和2年度は39人、令和3年度は71人となっており、増加しています。

外国人児童生徒教育補助
茂呂議員 県の新年度予算案を見ると、新規事業として外国

日本語学習等の支援増要望

人児童生徒等教育補助事業が計上されている。その目的と内容はどのようなものか。
学習指導課長 国の補助事業を活用し、県内公立小中学校に在籍する、日本語を母語としない児童生徒の学習及び学校生活を支援することを目的としており、市町村が行う相談員等の派遣や翻訳機導入等の経費を助成するものです。

対象市町村の決定方法
茂呂議員 対象市町村は、どのように決めるのか。学習指導課長 補助を希望する市町村から県に申請していただき、国が示した補助要件等を精査した上で、

日本語指導が必要
な全ての外国人児童生徒等が、日本語を学習できるように、明るく、健康的な学校生活を送れるよう、市町村への支援充実も含め、尽力していただきたい。

●県政と八千代市に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

茂呂つよし 県事務所
〒276-0046 八千代市大和田新田1092-7
TEL047-480-0244 FAX047-458-7033